

# 言語聴覚士 (Speech -Language-Hearing Therapists)

## 話す、聞く、食べる、のスペシャリスト。

話す、聞く、表現する、食べる…。誰でもごく自然に行っていることが、病気や事故、加齢などで不自由になることがあります。また、生まれつきの障害で困っている方もいます。  
こうした、ことばによるコミュニケーションや嚥下に問題がある方々の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが言語聴覚士の仕事です。

### コミュニケーションや食べる障害に対応

脳卒中後の言語障害(失語症、構音障害)や聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など、ことばによるコミュニケーションの問題は多岐にわたります。

**言語障害**

上手く話せない  
話が理解できない  
文字が読めない

**音声障害**

喉頭がんなどで  
声帯を失い  
声が出にくい

**嚥下障害**

上手に噛めない  
上手く飲み込めない

言語聴覚士はこうした問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施。必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行う専門職です。さらに医師や歯科医師の指示のもと、嚥下訓練や人工内耳の調整なども行います。

### コメディカルスタッフとして活動

言語聴覚士によるリハビリテーション医療は、医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士など医療専門職、ケースワーカー・介護福祉士・介護援助専門員などの保健・福祉専門職、教育、心理専門職などと連携し、チームの一員として行われます。

「言語」「聴覚」「嚥下」などの障害を持つ方をサポートするのが、言語聴覚士の仕事です



言語訓練



嚥下造影検査



嚥下訓練



かたつむりの会



訪問リハビリ